

～短大から大学へ編入し学びを深めています～

私は、短大の福祉学科 児童障害福祉専攻で学んだ特別支援についてさらに学びを深めるため、短大卒業後に大学の発達教育学部 発達支援教育学科に編入しました。

短大時代は、同じ専攻の同級生に男子が私 1 人という環境で、2 年間授業を受けていました。

入学した当初は、周りが女の子だけなので、どう話しかけたら良いか、分かりませんでした。みんな心よく話を聞いたり、話しかけてくれたりして、たくさんの友達が出来ました。

大学に編入してからは、新しい環境に変わったことで、はじめは友だち作りが大変でしたが、短大で学生会長を務めていたつながりで仲間の輪を広げていきました。今では楽しい大学生活を送っています。

現在は教員採用試験に向けて専門知識を学ぶだけでなく、面接対策等さまざまな学修をしています。

目標とする、子ども一人ひとりの苦手なものを克服できるように促すことができ、得意なものはさらに伸ばしてあげられるような先生になれるようがんばります。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 4 年 前田 敬純
福島県立喜多方高等学校出身

～授業で潮干狩りを体験しました～



「理科指導法」で野外観察（潮干狩り）を行いました。この体験で、普段見ることのできないたくさんの種類の生き物や自然について学ぶことができました。特にカニでは珍しい、

前に歩くマメコブシガニはとても印象的でした。そして、オスとメスの見分け方を知りました。また、水深が膝くらいまでの場所でホンビノスガイを獲りました。みんな夢中になって掘り、たくさんのカイを獲り、酒蒸しやバター焼にして食べました。自分で獲って調理したのでより美味しく感じられました。またこのような機会があったら参加したいです。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 3 年 河須崎 佑香
茨城県立鉾田第一高等学校出身

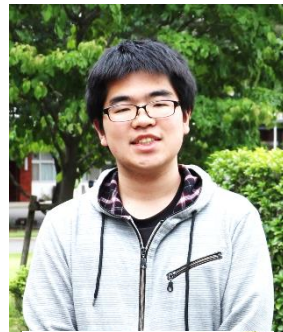
～ピオトープにて田植えを行いました～

5 月 10 日(金)植草共生の森（ピオトープ）にて田植えを行いました。当日は本学の学生以外にも近隣の方が親子で参加していただきながら作業することができました。

子どもたちは積極的に田んぼに入っていき、私の説明を聞きながら楽しそうに稲を植えていました。元気で疲れ知らずの子どもたちの様子に、こちらまで笑顔になりました。保護者の方々も、子どもたちのがんばっている姿を見て応援したり、手伝ったりしていました。みんなで夢中で作業している内に田植えは終了しました。

今回初めて田植えを体験したことで食べ物の大切さを感じました。また、自然の中で子どもたちと関わったことが、とても貴重な体験になりました。

10 月には稲刈りが控えているので、そちらにもぜひ参加したいと思います。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 1 年 河田 柊
千葉県立富里高等学校出身

pick up サークル

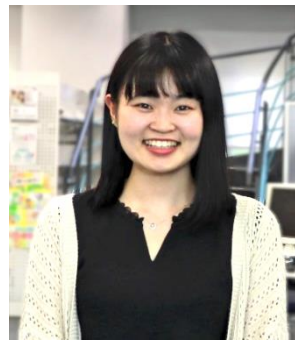
造形表現サークル



こんにちは。造形表現サークルです。私たちは主に学外で造形活動のボランティアをしたり、大学の公開講座で補助をしたりしています。大学祭では、幼児から小学生までを対象とした造形教室を開き、毎年さまざまな手作り作品を制作しています。

造形に対する自分の中の引き出しを増やすことができ、実習や就職をしてからも役に立つ活動ばかりです。

少しでも興味がある方は、毎週月曜日のお昼休みに美術造形演習室で活動をしているのでぜひ一度見学に来てください！



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 3 年 山本 真由
千葉県立匝瑳高等学校出身